

『自転車賑わい拠点施設』 応募者による愛称の説明

くるくるサカイクル

くるくるさかいくる

愛称の説明

自転車のタイヤがクルクル・堺に人が来るくる・堺＋サイクル＝サカイクル。自転車を通じていろんな人が堺に来てほしいからです！

goorinpark SAKAI

ぐーりんぱーく さかい

愛称の説明

「goorin」は、“good rings”を由来にした造語です。人、文化、自然、食、学び——さまざまな活動の“輪”が交わりながら、好循環を生み出していく様子を表現しています。

サイクルがぐりんと回る軽快なイメージ、心地よさ・風通しの良さを補強する「グリーン」を重ね合わせたネーミングで、子どもたちにも親しみやすい語感です。

自転車というコンテンツを軸に、老若男女にひらかれた公園のような場にしたいという願いを込めて、「park」をつなげたネーミングにしました。

「goorin」の中に並ぶ“oo”は自転車の車輪に見立てロゴやサイン計画に展開していくことで、複数の輪が交わりながら循環を生み出していくこの場所のコンセプトを視覚的にも表現しています。

堺かぜみちてらす

さかいかぜみちてらす

愛称の説明

「自転車」という言葉を直接用いるのではなく、「風」という言葉で、自転車が生み出す疾走感や心地よさ、まちを巡る楽しさを表現しました。また、堺市の観光文化施設に共通する名称構成に合わせ、「堺」を冠することで都市ブランドとしての統一感を意識しています。

さらに、本施設には大和川を望むテラス空間があることから、「てらす」という言葉を取り入れ、景観や滞在性を感じられる名称としました。

あわせて、「てらす」には「照らす」という意味も込め、自転車をきっかけに人が集い、笑顔や交流が広がる、明るい施設になってほしいという思いも込めています。

リバくるSAKAI

りばくるさかい

愛称の説明

【愛称の意味・由来・造語の理由】
大和川の「リバー（River）」に、2つの「くる」を掛け合わせました。
① サイクル（Cycle）の「くる」：自転車拠点の象徴として。
② 来る（来訪）の「くる」：サイクリストはもちろん、地域の方々やご家族連れ、お子様からご高齢の方まで、誰もが自然と集まり、「ふらっと来ることができる」温かい交流が生まれる拠点になってほしいという願いを込めました。

【文字の使い方と音の響き】
「くる」をひらがな表記にすることで親しみやすさを表現し、「リバくる行ってくる～♪」と、思わず口にしたくなる愛称をイメージしています。
私自身、普段からミニベロで大和川沿いを走るサイクリングが大好きです。自転車を愛する者にとって『堺（SAKAI）』という“まち”は、世界に誇れる素晴らしい技術と歴史を持つ特別な場所です。
この愛称には、地元の方々に親しまれるだけでなく、「世界的な自転車のまち・堺」としての格好良さも表現したいという思いを込めました。そのため、「SAKAI」はアルファベット表記にしています。
「リバくる」の親しみやすさと、「SAKAI」の世界へ発信する力。その二つを一つの愛称に込めました。